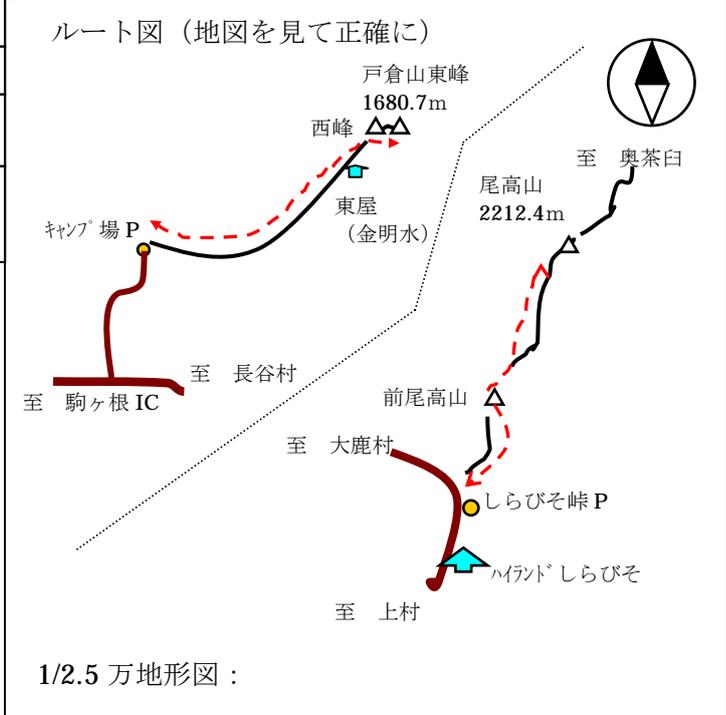


11月度 例会 山行報告書		報告者	佐 溝	参加 メンバー	CL: 佐溝直彦 SL: 渡辺勝利 浜島弘一 不破孝浩 (油井武・高尾山のみ)
個人		報告日	11/10		
山城	南ア前衛	山行日	010年 11月 7日(日) ~		
山名	戸倉山、尾高山		8日(月)		

山行目的	黄葉の山を愛でる	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
総会参加数	
山行: 1	
リーダー	
原紙:	
会事務局	



7日 (戸倉山) : 晴れ 山頂気温 10℃ 無風 タイム 豊田南IC発: 6:15 戸倉キャンプ場着: 8:45 駐車 登山スタート: 9:00 頂上 (西峰・東峰) : 10:55 -11:40 キャンプ場下山: 12:40
8日 (尾高山) : 薄曇り 山頂気温 5℃ 微風 タイム 大鹿山荘発: 8:15 しらびそ峠着: 9:15 駐車 登山スタート: 9:40 前尾高山: 10:25 尾高山: 11:28-11:45 峠下山: 13:10

〈山行報告〉 先日の福地山登山の折、塚本さんから大鹿村の山荘 (古民家) をベースに黄葉を見に行くが行くか? とお誘いあり、上記の4名が手を挙げ急遽参加させて頂く事になった、追加組は1日目戸倉山・2日目尾高山の登山計画とし、塚本組とは別行動で早朝豊田市を出発。駒ヶ根に着いた頃には朝霧もすっかり消えて穏やかな登山日和となり、9時前の登山口の駐車場には1番乗りだった。キャンプ場から山道に入りヒノキ林を急登、間もなくミツバツツジの保護区を抜け、黄葉真っ盛りの登山道は傾斜も適度で年寄りの体には優しい。6合目上の展望ベンチから伊那谷と中アを一望、8合目の東屋で2回目の休憩、直ぐそばに沢のない尾根筋の山腹から水 (金明水) が流れ出ている。喉を潤した後は最後の登りで西峰へ。期待通りの大展望で西には中ア・北西には真っ白に輝く乗鞍や槍穂が望める。南アを見る為に5分程先の一等三角点の東峰へ。眼前には左から鋸・甲斐駒・正面に大きな仙丈・右肩には少し新雪を纏った北岳。無風で暖かい頂上広場はつい長居してしまいそうな心地良さ、後発の入山者も程々で静かな黄葉山行だった。Pには9台の駐車有り。

2日目は油井さんも同行され5人満車でR152で地蔵峠経由しらびそ峠へ向う。大鹿から1時間、落葉松や広葉樹の見事な黄葉ドライブだが行きかう車も少ない。峠からの眺望は大沢岳・兎岳・聖岳など上に雲が覆ってはいるが一応は楽しめた。新雪が殆んど付いていないのがやや期待外れ、峠の登山口から尾高山へは苔むした倒木やシラビソ・ツガのうっそうとした樹林帯の中を前尾高を乗り越えて緩やかに登り返し山頂へ。頂上は尾根上の小さな岩のゴブで狭い樹林の中、すぐ先にビュー

ポイントがあったが赤石岳は雲の中で全く見えず残念! ここから奥茶臼へ 5.1K の標識有り、往復10時間の健脚コースとなっている。下りは足取り軽く、前尾高からしらびそ峠へは落葉松の葉吹雪を全身に浴びながらの下山となり真に名残りの黄葉を体いっぱい感じての満足の山行であった。尚、しらびそ峠から南へエコーラインを14K走ると日本のチロルと言われる「下栗の里」があるが今日は大鹿村に戻るため立ち寄りず次回のお楽しみとした。



確認 (リーダー)	佐
11/10	溝
作成 (報告者)	佐
11/10	溝

〈リーダー所見〉 デンソーの大先輩M氏のお計らいで山荘を利用させて頂き夜は50年前の懐かしい話で盛りあがった事、中央構造線博物館では1~2億年前日本列島誕生等の地質学に係わる遠大な貴重な説明を聞いて山のルーツに少し触れる事が出来たのがよかった。

良き山・良き黄葉・良き天候・良き先輩・良き仲間と交流出来た事に感謝!